



2025年
9月号

発行… 宍粟市山崎町御名20番地2

学校ホームページQRコード

山崎南小学校



自分でやってみよう

校長 山本 哲史

夏休みが終わりました。

今年も「過去最高に暑い夏」となりましたが、例年通り全国高等学校野球選手権大会が開催されました。開会式を午後4時から行ったり、お昼から午後4時過ぎまでは試合を行わなかったりするなど、異例の措置・工夫をしての開催となりましたが、野球ファンの私にとっては、今年も夏の甲子園大会が開催されたことをとても嬉しく思いましたし、いろいろな多くの試合を観戦してしまいました。(テレビ観戦ですが)

そんな高校野球で私がいつも思い出すのは、松井秀喜さん(石川県星稜高校出身)のことです。5打席連続で敬遠され一度もバットを振らせてもらえず敗退した時、当時の高校球児・松井選手はどんな気持ちだったのでしょうか。

その松井選手のことを、私はいつも、この言葉とともに思い出すのです。

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

これは、松井選手が、高校時代に監督さんから教わったものだそうです。何とも心に響く言葉だと思われませんか。

後で知ったのですが、これは、アメリカの有名な心理学者ウィリアム・ジェイムスという人の言葉なのだそう。高校時代の松井選手は、この言葉のとおりに、①ひとつのことをやり遂げようと心に決め、②習慣になるまでやり続けることに全身全霊で取り組み、③(野球…特に打撃)。だからこそ、5打席連続敬遠という予期せぬ事態となっても、あれだけ冷

静で堂々とした立ち振る舞いができたのではないかなと思うのです。

一度もバットを振らせてもらえずに試合に負けてしまったことは大変残念だったと思いますが、5打席連続敬遠については、インタビューで嫌な表情を見せることもなく、相手チームに苦言を呈することもなく、とても冷静にコメントされていたことが印象的でした。

「心を変え」「行動を変え」「習慣を変え」ことは、人間にとっても大事なことのですね。松井選手のその後の半生をみると、「心を変え」「行動を変え」「習慣を変え」て野球に取り組まれ、その後の人生をたくましく切り拓いていかれました。

そうです。ご存知のとおり松井秀喜さんは、その後活躍の場をアメリカ・メジャーリーグへと移し、ワールドシリーズのMVPを獲得するほどの名選手となられたのです。

大事なことは、まずはやってみようと行動を変えることなのでしょう。

9月1日の始業式で私は、子どもたちに、「こわがらずに、何でも自分でやってみよう」と呼びかけました。

山崎南小学校の子どもたちにも、松井選手のように、自らの未来をたくましく切り拓いていてもらいたいなと思っています。

特別支援コーディネーター担当

特別支援コーディネーターとは、すべての児童を対象に、だれもが心地よい環境の中で学習や生活をする事ができるよう、体制や手立てを考え、必要に応じては関係機関と学校とをつなぐパイプ役を果たす役割を担っています。一人ひとり、身体的なこと、心理的なことなど

自分ではどうしようもないことも含め、みんなそれぞれにちがいをもっています。それらのちがいを互いに認め合い、受けとめ合い、ともに生きていこうとする社会の実現に向けて行われる教育をインクルーシブ教育といい、そのために必要と

される大切なことの1つに『合理的配慮』といわれるものがあります。それは例えば、近視の人はコンタクトレンズや眼鏡を使用しています。すると、はつきりと遠くまで見えるようになります。近視ではない人と同じ状態でものを見ることができるようになります。このように、だれもが平等に社会生活を送れるよう、個々の特性や状況に応じて行うために必要となる手立てを『合理的配慮』といいます。合理的配慮の形は様々で、見てはつきりわかるものもあれば、目には見えにくいものの、見えないようにしているものもあります。ここに例としてあげたコンタクトレンズや眼鏡についても、コンタクトレンズの場合には本人が言わない限り、人に気づかれることはありません。それに対して眼鏡の場合は、言わずとも誰の目にも見てわかります。そしてそれを本当は心のなかで「眼鏡は似合わないからほんとはあんまりしたくないんだけどな・・・」と思いながらしていることがあるかもしれません。こうしたことを考えると、だれもがちがいをもちながらも、だれもが同じように心地よく学習や生活に向き合うことができるようにするためには、相手の心にそっと心を傾ける優しい気持ちや思いやりが大切になるのではないかと私は思います。そうすることで、だれもがちがいがあってもみんなと同じようにできる喜びや楽しさを感じたり、不安が安心へと変換されたりするのではないのでしょうか。そして人と自分のちがいをひっくりめた「ありのままの自分が好き」へとつながっていくものではないかと私は考えています。

人と比べるのではなく、「昨日」や「少し前」の自分と「今」の自分に視点をあて、伸びた自分、そしてなによりそこまで頑張った自分を褒めることのできる心たくましい山崎南小学校302名であってほしいと願い、日々、努めています。

もしも、お子様のことでなにか気になられることなどございましたら、遠慮なく、担任を通じてお知らせいただけると幸いです。

行事予定

9月

10日(水)クラブ

11日(木)防災訓練

17日(水)集金日・委員会

21日(日)秋の交通安全週間(～30日)

22日(月)3年生マルアイ見学

25日(木)修学旅行

26日(金)修学旅行・4年生租税教室

29日(月)4年生しそ森林の探検隊(鷹巣)

10月

1日(水)3年生水生生物調査(宇原)

クラブ活動

2日(木)視力検査(低学年)

3日(金)視力検査(中学年)

参観日・教育講演会

6日(月)視力検査(高学年)

7日(火)おもしろ理科実験教室

8日(水)3年生環境体験事業(環境体験館へ)

9日(木)運動会練習開始

10日(金)4年生しそ森林の探検隊

(フォレストステーション波賀へ)

15日(水)集金日・委員会活動

22日(水)運動会リハーサル

25日(土)秋季運動会

27日(月)振替休業日

30日(木)就学時検診